

かしの木

●第19号●

社会福祉法人
せたがや榿の木会
機関誌第19号
2016.5月発行

新年度を迎えて



理事長 岩井 雄一

平成二十八年度が始まりました。新たな年度に各事業所では、新入所者を迎えられたことと思います。新たに入所された皆様にお祝いを申し上げますとともに、皆様のより一層の結束によりそれぞれの事業所がますます発展されることをお祈りします。また、職員の間にも異動もありました。新規採用の職員も含め、どうぞよろしくお願い致します。さて、平成十四年に「世田谷区手をつなぐ親の会」の会員の皆様の願いを受けて設立された本法人「せたがや榿の木会」も十五年目を迎えました。千歳台福祉園、下馬福祉工房の受託経営から、ヘルパーステーション榿の木、プレイ&リズム希望丘の設立、民営福祉作業所の受け入れ、わくわく祖師谷の開設、相談支援センターあい、どん

ぐりホーム上町の事業開始、この十五年間多くの関係者の皆様のご支援により事業を拡大してまいりました。今年度は、現在上町工房の分場である、喜多見福祉作業所の独立本場化を目指しているところです。

また、私ども法人の事業である福祉や支援に関する内容の質的な向上を図るため、職員の研修制度を確立しました。研修を通し、専門性の向上を図り各事業所における支援の充実を図りたいと考えております。福祉の仕事、知的障害児・者及びご家族への支援に関して、職員一同やりがいをもって取り組めるよう研修していきたいと考えます。

一方、すでに国会を通過した社会福祉法の改正に対する対応も求められています。社会福祉法人改革における議決機関としての評議委員会の役割の強化、透明性などが求められるとともに福祉人材の確保の方策が示されました。改正社会福祉法に基づく組織作りやさらなる人材育成等に早急に対応してまいります。関係の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

さらに、研修と合わせて、法人の理念についても関係者の知恵を集めてよりよいものに作り替える時期に來たと考えます。障害者の権利条約への批准を機会に我が国の障害者に対する施策も変化しているところです。本年四月一日からは「障害者差別解消法」が施行されます。このような社会の変化に応じて変えていくところは変え、本質的にこれまで通り大切にすることはさらに進めていくなどの検討をし、法人としての理念を確立していきたいと考えます。

今年度もこのように課題は山積であります。しかし、利用者やご家族の皆様への立場に立つて課題を解決し、新たな事業に向けて法人の運営を進めていきたいと考えます。そのためには、財政の強化も大きな課題と考えます。国や都、区からの補助をいただきながら運営しているところですが、関係の皆様のご支援がまた必要になってきております。休止中の榿の木友の会の再開を含め、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。申し上げ年度初めのご挨拶とさせていただきます。



思い出を沢山頂き感謝です

前事務局長 佐藤 勝



つなぐ親の会ははじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。

この度、せたがや櫛の木会を退職いたしました。これまで櫛の木会の事業を支えていただいた世田谷区手を

事務局長の後任には、障害者福祉行政並びに社会福祉法人運営に経験のある安齋俊彰さんが就任されますので安心して引き継ぎができます。

さて、振り返りますと平成十四年三月せたがや櫛の木会の創設時に、初代の鈴木理事長から依頼されて評議員に就任したのが最初の関りでした。その後、平成二十二年四月からは法人本部の事務局長に就任させていただき、法人の企画運営に直接・間接に関わってきました。この間には、各事業所の新年会や祭りに伺い利用者の笑顔に接した楽しい思い出や、親の会の皆様や利用者・家族の方々の長年にわたる要望であったグループホーム・ショートス

テイの施設建設が実現し、上町工房どんぐりホーム上町・短期入所事業が開始できた時は感無量でした。

思い出は尽きませんが、今後の櫛の木会の益々の発展と関係者皆様のご健勝を祈念し、退任の挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございます。

就任に当たって

事務局長 安齋 俊彰



この度、佐藤前事務局長

の後任としてまいりました安齋俊彰です。もとより浅学非才の身ではありますが、

職責の重要性を深く認識し、責務の全うに努力して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

さて、本年四月一日。「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」いわゆる、「障害者差別解消法」が施行されました。これを機に、障害のある人もない人も、その人らしさを認め合い、共に生きる地域社会をこれまで

以上で作っていかねばなりません。私は、「世田谷区の知的障害児・者が住み慣れた地域で安心して自立生活が続けられるよう、質の高い福祉サービスを提供します」という、せたがや櫛の木会のミッションの実現に向け、職員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、邁進して行く所存です。

ノーマライゼーション社会の実現のために共に頑張っていきましょう。

退任の挨拶

わくわく祖師谷

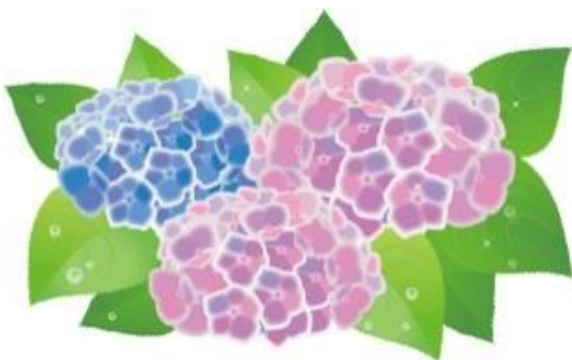
前施設長 松田 輝美



この度、退任することとなりました。まだ、やり残したことがありますが、今回関わらせていただき、た

くさんのことを学ぶことができました。生活介護事業、就労継続支援B型、それに相談支援センターあい、があり、それぞれが日々熱心に力強く活動してきております。それぞれの利用者さんは、個々の目標に向かって、歩幅は違っても確実に前進していると思います。これからも少々距離はございますが、

遠くから応援のエールを送り続けたいと思います。これまでのご理解、ご協力、ご支援に感謝いたします。ありがとうございました。



新しい出会いにわくわくして

わくわく祖師谷

施設長 大野 正志



四月より、わくわく祖師谷の施設長と相談支援センターあいの所長を兼任することになりました大野正志といいます。どうぞよろしくお願

願い致します。

大原の頼れる仲間たち

大原福祉作業所

所長 伊能 亮



四月一日付で大原福祉作業所に所長として着任致しました伊能亮と申します。私は平成十二年に奥沢福祉作業所、十四年のせたがや檜の木会設立時から下馬福祉工房、そして二十五年から用賀福祉作業所で三年お世話になりました。

大原福祉作業所の秋祭りには以前から毎回ボランティアとして参加させて頂きました。定番だったミュージカル劇や昨年新たに行われた喫茶店など、大原のお仲間お一人おひとりの「良いなあ」を感じることができました。大原福祉作業所のお仲間と四月から一緒に過ごしている中で、皆さんの誠実さ、明るさ、素直さに助けられています。三年後の守山小学校跡地への移転を視野に入れ、地域の多くの方々に大原福祉作業所の魅力を知って頂くよう、大原の頼れる愉快なお仲間たちと

六年前に利用者十五人で開設したわくわく祖師谷も六十人を超える大きな施設になっています。人間という思春期のような時期でしょうか、上手に乗り越え成熟した素敵な施設にしていければと思っていますので、よろしくお

一緒に前向きに進んでいきたいと思えます。よろしくお願ひ申し上げます。

用賀福祉作業所所長に就任して

用賀福祉作業所

所長 佐藤 和貴



今年度より、所長になりました、佐藤和貴です。よろしくお願ひ致します。

用賀福祉作業所は、民営時代（当時は奥沢福祉作業所）から数えると三十年、法人参画して八年目を迎えます。制度や社会情勢がめまぐるしく変わりますが、古き良きものは継続させ、利用者の方にとってプラスとなる新しい制度には乗っかり、利用者の方にとってよりよい支援が出来るかと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

職員人事のお知らせ

施設長等の任命・異動（四月一日付）

本部事務局

事務局長 安齋 俊彰

わくわく祖師谷

施設長 大野 正志

大原福祉作業所

所長 伊能 亮

用賀福祉作業所

所長 佐藤 和貴

ヘルパーステーション檜の木

所長 安齋 俊彰

相談支援センターあい

所長 大野 正志

施設長等の退任（三月三十一日付）

本部事務局

事務局長 佐藤 勝

わくわく祖師谷

施設長 松田 輝美

職員の異動・昇進（四月一日付）

千歳台福祉園

支援員 小弓場 成樹



下馬福祉工房

支援員 新川 優奈

わくわく祖師谷 (生活介護)

支援員 岩澤 辰洋

わくわく祖師谷 (生活介護)

支援員 青山 光里

わくわく祖師谷 (B型)

支援員 下國 君子

大原福祉作業所

支援員 長澤 千恵美

本部事務局

支援員 虎谷 シノブ

千歳台福祉園

主任 大野 一徳

わくわく祖師谷 (B型)

主任 田島 和美

大原福祉作業所

主任 横田 明生

職員の異動・昇進 (五月一日付)

わくわく祖師谷 (生活介護)

主任 高橋 里雄

千歳台福祉園

主任 山本 吉輝

新規採用者 (四月一日付)

千歳台福祉園

支援員 中井 俊之

下馬福祉工房

支援員 西山 友里

喜多見福祉作業所

支援員 寺門 典宏

プレイ&リズム希望丘

支援員 岡村 大樹

相談支援センターあい

相談員 寺本 梨沙

どんぐりホーム上町
支援員 宮崎 雅之

編集後記

ようやくかしの木最新号が完成しました。今年度、事務局長の交代を始め、職員の異動も有りせたがや櫨の木会の新たな船出となりました。

利用者の皆様お一人おひとりが笑顔になれるよう前を向いて進みます。よろしくお願ひ致します。お子様たちの天使の笑顔ステキですね。ぜひ癒されてください。

世田谷区手をつなぐ親の会



障害があっても自信をもって生活ができるような社会を作りたいという願ひをもって、活動をしています。研修会や見学会、HP、権利擁護、「セータとガーヤの気持ち伝え隊」のキャラバン活動、体育大学との運動教室など、いろいろな取り組みをしていますので、興味のある方は、ぜひHPをご覧ください。

<http://oyanokai-setagaya.com>

ご相談があれば、東京都育成会権利擁護支援センター世田谷支部
受付専用電話 **090-3136-0067** でお受けしています。

〒156-0051 世田谷区宮坂 2-26-17 ソーワ豪徳寺マンション 306
TEL : 03-3706-0067 FAX : 03-3706-0246

編集発行 社会福祉法人せたがや櫨の木

〒155-0033

東京都世田谷区代田 1-29-5

TEL 03-5481-1010

FAX 03-5787-4051

E-mail setagaya-kasinokikai@poppy.ocn.ne.jp

URL <http://kasinokikai.net>

かしの木 19号では、プレイ&リズム希望丘のお子様たちから6点の活動の様子
の写真を提供していただきました。

皆さん生き生きとした表情でとても楽しそうですね。ありがとうございました!!

